

事業戦略

グローバル事業部門



執行役専務
グローバル共同事業部門長

中村 敬一郎

執行役副社長
グローバル共同事業部門長

百留 秀宗

グローバル事業部門実績

	2025年度	前年比*
業務粗利益	15,509億円	+1,101億円
経費	10,634億円	+1,074億円
経費率	68.6%	+2.5%
業務純益	6,558億円	+163億円
当期純利益	3,210億円	(376)億円
ROCE ¹	5.9%	(1.0)%
リスクアセット	51.0兆円	(1.7)兆円

* 内部管理ベース（為替影響等調整後）

グローバルCIB・S&Tやマルチフランチャイズ戦略等の広範な事業ポートフォリオを最大限活用し、国内外のお客さまの国際的な事業展開をグループ一体でサポートしていきます。

前

中期経営計画期間中は、中東での地政学リスク顕在化をはじめ、事業環境の不確実性が高まる中、事業ポートフォリオの収益性向上に向けた資源シフト加速、プライマリ・セカンダリー体運営をはじめとしたCIB・S&T強化、およびマルチフランチャイズ戦略におけるインドのYES BANKへの出資等、成長に向けた取組を着実に進めました。

その結果、リスクアセットを抑制しながらトップラインは大きく伸長しましたが、成長領域や基盤強化への戦略投入等により経費も増加しました。また、新興国等において与信関係費用が発生していることを踏まえ、リスクコントロールのさらなる強化が重要と認識しています。

新中期経営計画では、引き続き不確実性の高い事業環境には十分注視しつつ、採算性改善を基軸に、中長期的にグループの質の伴った成長を牽引していくため、以下4つの重点戦略領域に注力していきます。

① グローバルCIB・S&Tの強化

高採算領域への資源シフト、事業ポートフォリオ入替を継続しつつ、S&T強化と並行して投資家ネットワークを拡充し、OtoDをはじめとした資産回転型ビジネスモデルへの転

換を進めていきます。また、Jefferies提携を活用した投資銀行ビジネスや、新ブランド「SMBC Connect」を活用した預金獲得にも資するトランザクションバンキングビジネス等、ノンアセット収益をさらに拡大していきます。

② マルチフランチャイズ戦略の成長実現

SMBCグループとの連携を通じたシナジー創出を含め、各既存出資先の収益力向上に注力し、インドをはじめとする各国の高い経済成長の果実を着実に捕捉していきます。また、各国の事業環境の変化に適切に対応しつつ、アセットクオリティの改善等を通じて、安定的かつ継続的な利益成長を目指します。

③ グローバル経営基盤強化

複雑化する事業環境に応じたリスク管理の強化と同時に、グローバルに最適かつレジリエントな業務運営体制を構築します。IT・AIについてはモデル転換に必要な投資をグローバル一体の目線で戦略的に実行することで、効率的に基盤整備を進めていきます。また、インドに開業したオフショアリング拠点を根拠に業務効率化を推進し、経費構造改善、オペレーティングモデル変革を実現します。

④ 新規成長領域の拡大

次なる成長を支えるオルタナティブAM戦略については、2025年リリースの統一ブランド「SMBC PRIVATE MARKETS」を活用しつつ投資家ネットワークを拡充し、グループ一体でのマネジメントフィービジネス拡大を図ります。